

学年	問題4		ことわざ・
組	ことわざ		故事成語
名前	に強くなるろう		

「ことわざ」とは、昔から言い伝えられてきた人々の知恵を表した言葉で、いましめやためになるものなどが多くあります。

【例】 さるも木から落ちる

「木登りが得意なさるでも木から落ちることがある」ということのとえから、「どんなにすぐれた名人でも、時には失敗することがある」という意味で使われる。

「故事成語」とは、昔の物語や事実をもとに、特別な意味で広く使われるようになった言葉です。

【例】 五十歩百歩

「戦場で五十歩にげた兵士が、百歩にげた兵士をおく病ものと言って笑ったが、にげたことにかわりはない」ということから、「どちらも大差はない」ことを表す。

① 次のことわざとにた意味のことわざを、のことわざから選んで記号を書きましよう。

- ① かつぱの川流れ (エ)
- ② ぶたに真珠 (ウ)
- ③ ころばぬ先のつえ (イ)
- ④ なきつつらにはち (オ)
- ⑤ 絵にかいたもち (ア)

ア	とらぬたぬきの皮算用	イ	石橋をたたいてわたる
ウ	ねこに小判	エ	弘法にも筆のあやまり
オ	弱り目にたたり目		

② () には動物が入ります。当てはまる動物を入れてこ
とわざを完成させましょう。

① (すずめ) 百までおどりわすれず

※小さい時に身につけたことは、大きくなっても忘れないということ。

② (とら) の威をかるきつね

※力のないものが強い人の力にたよっていばること。

③ (馬) の耳に念仏

※人の意見を聞こうとしない人には、何を言ってもおだであるということ。

④ えびで(たい) を釣る

※わずかなもので大きなものを手に入れること

⑤ 井の中の(かわず) 大海を知らず

※身の回りのせまい世界にとらわれて、もっと広い世界があることを知らないこと

③ 故事成語の意味として正しいものを から選び、記
号を書きましよう。

① 矛盾

(ウ)

② 背水の陣

(エ)

③ 推敲

(ア)

④ 他山の石

(イ)

ア 文章をねりなおすこと

イ よそのできごとやつまらないことでも自分をみがくの役に立
つこと

ウ 話のつじつまが合わないこと

エ あとへしりぞけないようにして、全力をつくすこと